



2022年11月分

TOKYO CUSTOMS HANEDA BRANCH
東京税関羽田税関支署

羽田空港貨物取扱量

総取扱量は10ヵ月ぶりに増、積込量は11ヵ月ぶりに増、取卸量は9ヵ月連続減

概要

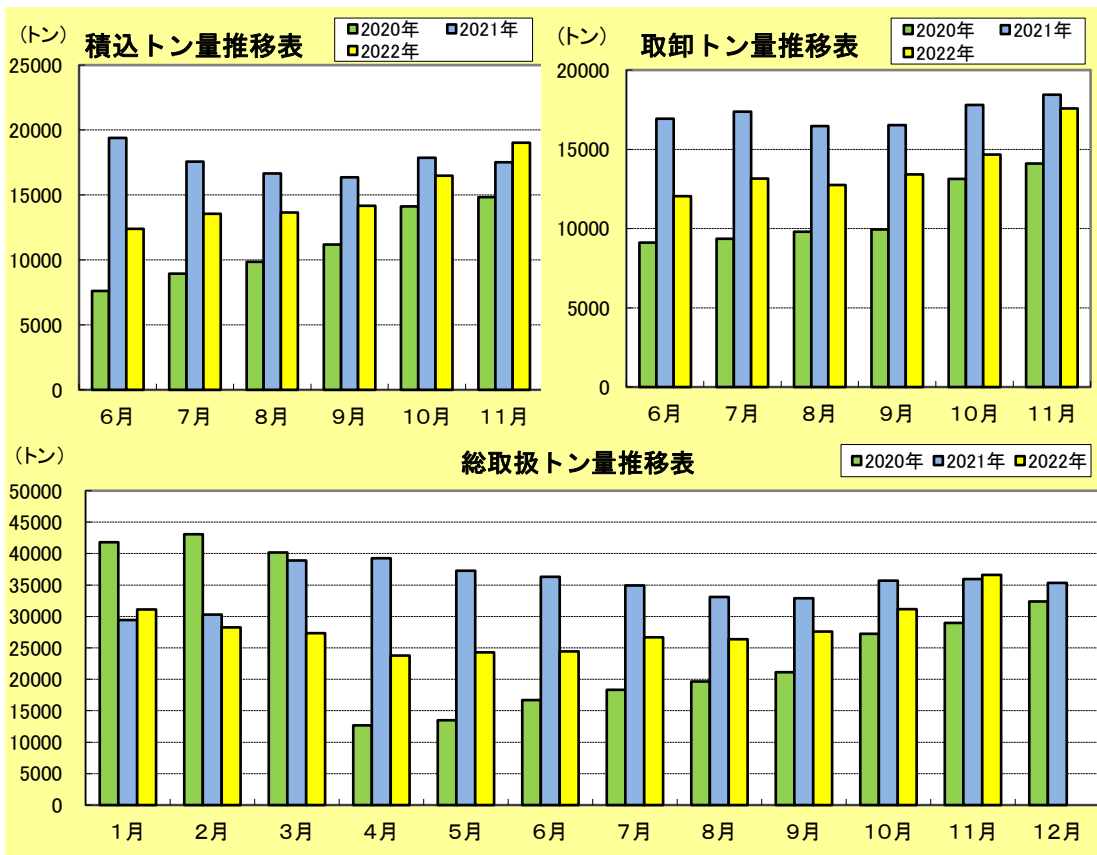
2022年11月の羽田空港における国際航空貨物取扱量は、

総取扱量 36,593トン(前年同月比 1.7%増)

積込量 19,021トン(同 8.5%増)

取卸量 17,572トン(同 4.7%減)

となり、前年同月比で見ると、総取扱量は10ヵ月ぶりにプラス、積込量は11ヵ月ぶりにプラス、取卸量は9ヵ月連続でマイナスとなった。



1. 本資料を他に転載するときは、東京税関(羽田税関支署)の資料による旨を注記してください。
2. 本資料の問い合わせは、東京税関羽田税関支署業務管理課(TEL050-5533-6971)まで。



地域別通関動向

● 輸出货量

羽田空港から輸出された貨物量を通関地域別にみると、

羽田地域通関 1,224トン(前年同月比 6.3%増、シェア 12.9%)

その他地域通関 8,269トン(同 0.1%増、同 87.1%)

となり、前年同月比で見ると、羽田地域通関は9カ月ぶり、その他地域通関は10カ月ぶりにプラスとなった。

● 輸入量

羽田空港で輸入された貨物量を通関地域別にみると、

羽田地域通関 5,112トン(前年同月比 6.1%減、シェア 48.9%)

その他地域通関 5,336トン(同 16.2%減、同 51.1%)

となり、前年同月比で見ると、羽田地域通関、その他地域通関ともに、9カ月連続でマイナスとなった。



仮陸揚貨物動向

仮陸揚貨物を積込、取卸別にみると、

積込量 9,528トン(前年同月比 17.4%増)

取卸量 7,124トン(同 7.5%増)

となり、前年同月比で見ると、積込量は2カ月連続でプラス、取卸量は11カ月ぶりにプラスとなった。



生鮮・ドライ取卸貨物動向

2022年11月の羽田空港で輸入された貨物(羽田地域通関分)を生鮮貨物及びドライ貨物別にみると、

生鮮貨物 730トン(前年同月比 32.7%減、シェア 14.3%)

ドライ貨物 4,382トン(同 0.5%増、同 85.7%)

となった。

生鮮貨物の内訳は、野菜等27.8%(前年同月比40.9%減)、水産物20.2%(同44.0%減)、果物18.3%(同1.2%増)、植物(切花等)17.7%(同6.6%増)等となった。

羽田空港取卸貨物の生鮮・ドライ貨物の内訳

	2022年11月			2021年11月		
	トン	前年同月比	構成比	トン	前年同月比	構成比
羽田空港輸入貨物量	5,112	93.9%	100.0%	5,445	128.8%	100.0%
生鮮	730	67.3%	14.3%	1,085	153.0%	19.9%
ドライ	4,382	100.5%	85.7%	4,360	123.9%	80.1%